

待望の新病院、診療開始!

新しく、進化した新病院が誕生しました

広島共立病院は、2014年9月1日(月)より、新築移転した新病院での診療を開始いたしました。8月20日未明に発生した集中豪雨では、旧病院が浸水被害に遭うというアクシデントがありましたが、新病院には大きな影響はなく予定通りの開院です。災害に強い病院を目指して設計した成果がひとつ確認でき、ご支援ご協力いただきましたすべての関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

日常診療では、急性期医療・回復期リハビリテーション・緩和ケア・健康増進を4本柱として積極的に推進してまいります。そして地域の医療機関との連携を強め、地域の皆様が保健・医療・介護・福祉を円滑に受けられるようにサポートさせていただきます。

新しく、進化した広島共立病院を今後ともよろしく願いいたします。



8.20 広島土砂災害復興支援ニュース このたびの大規模土砂災害で犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

旧病院の被災

1階に浸水しCT室・生理検査室・厨房・ボイラー室・エレベーターが被害を受けました。早朝の救急患者の受け入れを制限させていただきましたが、当日の外来診療や手術は何とか実施しました。

避難所巡視

8月20日当日午後より開始。避難者の方のお話を聴き、健康チェック等を行いました。被災者の方々の様々な状況を知る事ができました。

旧病院を避難所に提供

旧病院を避難所として活用していただくことになり、梅林小学校に避難されている方々が、9月5日より移転して来られました。施設管理は広島市が行い、市の職員が常駐しておられます。

泥出しボランティア

個人宅の周辺など、泥出しの要望があった所で作業を行いました。全日本民主医療機関連合会(民医連)からの応援が大きな力となりました。今後も継続して支援をすすめる予定です。

組合員訪問

広島医療生活協同組合の組合員さん宅を訪問し、組合員さんと対話。避難所に名前があっても会えなかった方に会えるなど、無事を喜び合いました。1ヶ月経過しても問題が山積んでいます。

広島共立病院では、引き続き被災した方々への一日も早い生活の復興のための支援を行ってまいります。